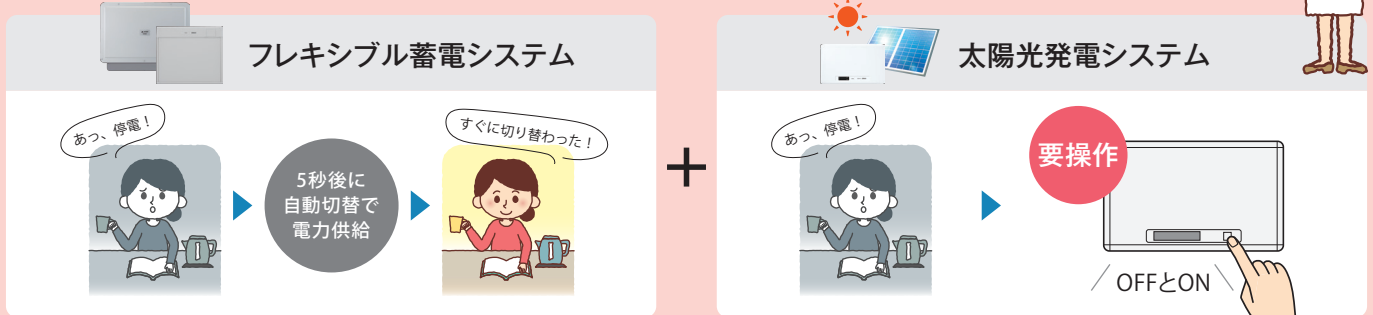


停電時に

太陽光発電システムを併設しているユーザー様!

太陽光発電を使うには**操作が必要**です



昼に停電が起きた場合は、**要操作**

フレキシブル蓄電システム

蓄電残量が充分なら、自動で家電に電気を送ります。ただし、太陽光発電を充電できるように「**停電時充電電力**」の設定を確認してください。(詳細は裏面をご参照ください)

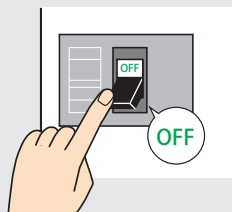
太陽光発電システム

「**自立運転**」に切り替えてください。

太陽光発電システムの自立運転への切替方法

停電したら…

①太陽光発電用ブレーカをOFFに



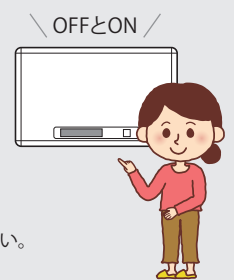
(設置場所例)
主分電盤の中
主分電盤の近く
洗面所、玄関、
台所など

②ソーラーパワーコンディショナを自立運転に切り替えます。

(一例)

1. 運転スイッチOFF (連系運転停止)
2. 運転スイッチON (自立運転開始)

切替方法の詳細は、取扱説明書をご覧ください。



- ・ 停電が回復したら、手で連系運転に戻してください。
- ・ 連系運転⇄自立運転の切替は、自動になっている場合もあります。

翌日も停電していたら、太陽が出てから再度②を行ってください。

オムロン製ソーラーパワーコンディショナの自立運転切替方法は、当社HPで取扱説明書をご覧ください。

<https://www.omron.co.jp/energy-innovation/download/>

スマホはこちら



夜に停電が起きた場合は、**操作いらず**

フレキシブル蓄電システム

蓄電残量が充分なら、**自動で家電に電気を送ります**。
蓄電残量がわずかになると、充電されるまで待機します。
※停電時は0%まで使いきらず、蓄電池を保護します。

太陽光発電システム

夜間は太陽光発電ができないので、「自立運転」には切り替えられません。





すぐできる!

フレキシブル蓄電システムの 停電時の充電設定方法

KPAC-Aシリーズ

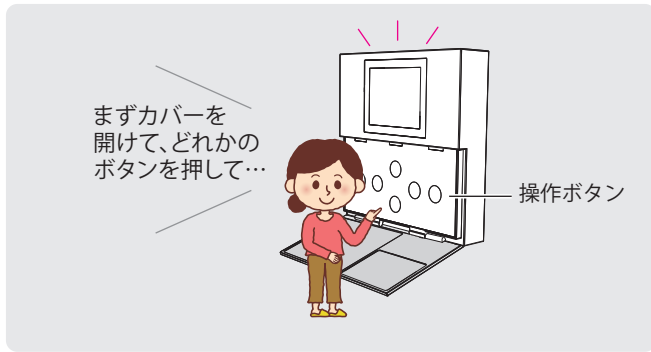


リモートコントローラ KP-RC1B-Rで「停電時充電電力」の設定値を確認してください。

「0W」の場合は、停電時に太陽光発電を充電することができませんので変更してください。

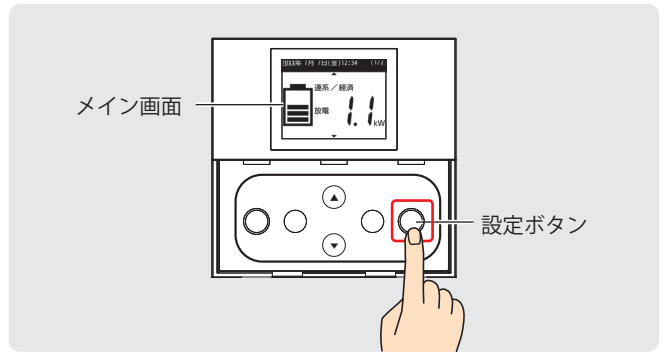
1

フロントカバーを前方に開けて、操作ボタンのいずれかを押し表示部を点灯させます。



2

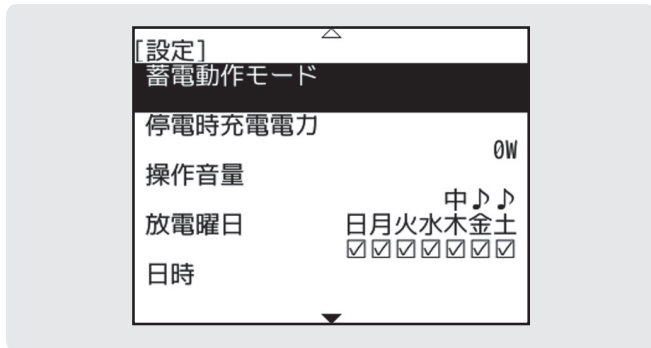
メイン画面が表示されるので、一番右にある設定ボタンを押してください。



停電時にエラーが表示されている場合は、いずれかのボタンを押し、メイン画面に戻してから設定ボタンを押してください。

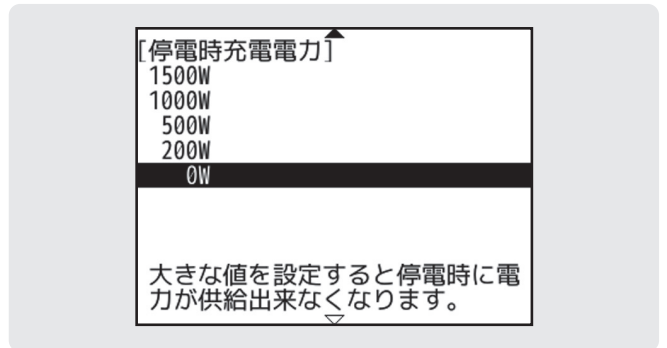
3

設定画面が表示されたら、「停電時充電電力」を選び、決定ボタンを押してください。



4

「0W」以外の設定値を選び、決定ボタンを押してください。



5

内容を確認して、決定ボタンを押すとメイン画面に戻ります。

停電時充電電力

0W(初期値)/200W/500W/1000W/1500W

設定値は、目安として
200Wまたは500Wが
おすすめです。



【ご注意】

「停電時充電電力」を大きくしすぎると、ソーラーパワーコンディショナがエラーで停止します。

停電時に使う家電(特定負荷)+蓄電池への充電が、ソーラーパワーコンディショナの発電電力(*)を上回ると、停電時に太陽光発電が使えません。「停電時充電電力」は、使う電力と発電電力のバランスを考えて設定してください。

(*)一般的なソーラーパワーコンディショナの自立運転の出力は、最大1.5kVA(約1500W相当、家庭用コンセントひとつ分)です。



すぐできる!

フレキシブル蓄電システムの 停電時の充電設定方法

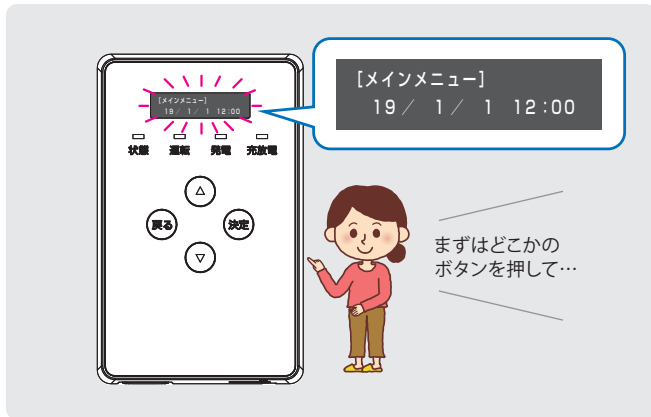
KPAC-Bシリーズ



蓄電システム用ゲートウェイ KP-GWBT-Aで「停電時充電電力」の設定値を確認してください。
「0W」の場合は、停電時に太陽光発電を充電することができませんので変更してください。

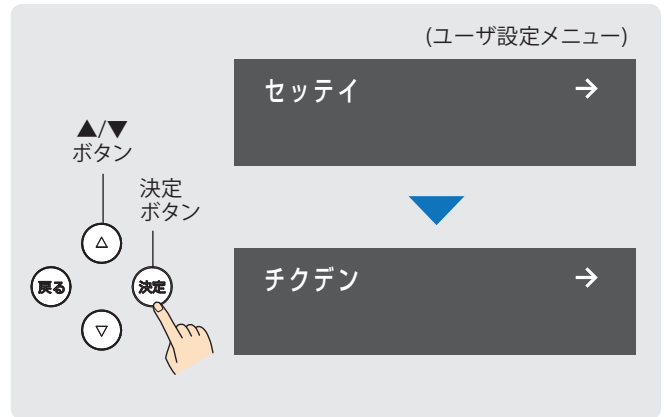
1

いずれかのボタンを押して、表示部に
メインメニューを表示させます。



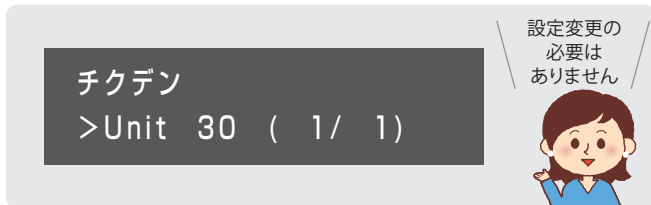
2

▲/▼ボタンで「セッテイ」を選択し、決定ボタン
を押します。続いて、▲/▼ボタンで「チクデン」
を選択し、決定ボタンを押してください。



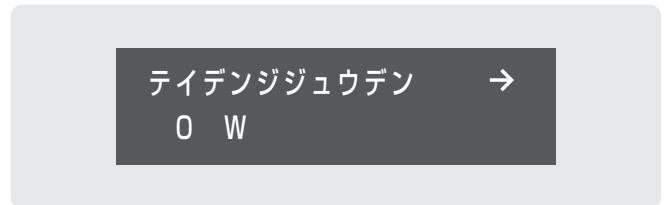
3

蓄電パワーコンディショナのユニットNo.が表示
されますので、決定ボタンを押してください。



4

▲/▼ボタンで「テイデンジジュウデン」を
選び、決定ボタンを押してください。



5

▲/▼ボタンで「0W」以外を選び、決定ボタン
を押します。戻るボタンを数回押すと、
メインメニューに戻ります。



停電時充電電力

0W(初期値)/200W/500W/1000W/1500W

設定値は、目安として
200Wまたは500Wが
おすすめです。



【ご注意】

「停電時充電電力」を大きくしすぎると、ソーラーパワーコンディショナがエラーで停止します。

停電時に使う家電(特定負荷)+蓄電池への充電が、ソーラーパワーコンディショナの発電電力(*)を上回ると、停電時に太陽光発電が使えません。「停電時充電電力」は、使う電力と発電電力のバランスを考えて設定してください。

(*)一般的なソーラーパワーコンディショナの自立運転の出力は、最大1.5kVA(約1500W相当、家庭用コンセントひとつ分)です。